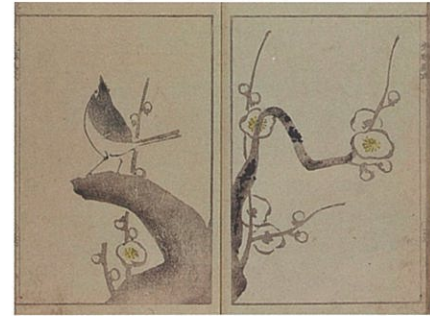


梅を愛で、芝居を楽しむ

1月11日(土)～
2月16日(日)



令和最初の新春展では、『万葉集』『梅花の歌32首』の序を典拠とする新元号の由来にちなみ、松花堂昭乗筆「梅画賛」をはじめとした梅をテーマとする書画を中心に、庚子の春を寿ぐ作品をご紹介します。

また令和2年は、13代目市川團十郎の襲名披露という大きなイベントがあります。本展覧会では、上方浮世絵を中心に、時代を越えて人々に愛される歌舞伎の世界もお楽しみいただけます。

書画に描かれた梅を愛で、芝居の賑わいを感じながら、新たな年のはじまりを松花堂美術館でお過ごしください。

展示作品は約40点です。



学芸員による
ガイドツアー
開催日 1/12(日)、2/2(日)、2/16(日)
各日午後2時より(約30分) 展示室にて
*参加無料(別途観覧料が必要です)
申込み不要

1. 歌川国安「助六曲輪菊」のうち〈個人蔵〉
2. 長山孔寅「松花堂画寄合賛絵巻写」(部分)
〈松花堂美術館蔵〉
3. 『光琳画式』『梅に鶯』(部分)〈個人蔵〉
4. 歌川豊国ほか「江戸乃花名勝会」のうち〈個人蔵〉
5. 油小路隆弘ほか『万葉集』
付・梅花唐草時絵箱〈松花堂美術館蔵〉
6. 「東山遊楽図屏風」〈松花堂美術館蔵〉
7. 中林竹洞「梅図」〈松花堂美術館蔵〉
8. 松花堂昭乗「梅画賛」〈松花堂美術館蔵〉

[松花堂庭園(国指定史跡・名勝)]
平成30年6月18日に発生した大阪北部地震の影響により、松花堂庭園は外園のみ開園しています。詳しくは電話にてお問い合わせ下さい。

[開園]午前9時～午後5時(入園は4時30分まで)
[休園]毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
[料金]一般100円 学生80円 こども50円
● ボランティアガイドによる庭園案内/無料(要予約)

[京都 吉兆 松花堂店]
「吉兆」の創業者・湯木真一が、松花堂昭乗の「四つ切塗箱」をヒントに生み出した「松花堂弁当」。地元野菜、季節の鮮魚で彩られた「松花堂弁当」を、昭乗ゆかりの地で是非ご賞味下さい。

※ご予約は吉兆松花堂店(075-971-3311)まで

ACCESS

[交通のご案内]
● 京都駅から近鉄電車「丹波橋」駅で阪電車に乗換え(大阪方面)
● 阪電車「石清水八幡宮」駅または「樟葉」駅から
京阪バス「大芝・松花堂前」下車すぐ
● JR学研都市線「松井山手」駅から
京阪バス「大芝・松花堂前」下車すぐ

八幡市立松花堂美術館
http://www.yawata-bunka.jp/syokado/
〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎区 43-1
Tel. 075-981-0010
Fax. 075-981-0009

